
Lover:1

雨葉咲美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Lover:1

【ZPDF】

N69020

【作者名】

雨葉咲美

【あらすじ】

高校生男子が愛した女の子は小学校3年生。少女が命をかけて伝えたいこと。青年は少女の姿に何を見るのか。

あなたは罪を犯したことがありますか？誰かを真剣に愛したことがありますか？

『実耶、実耶。』

彼女は寝返りをうつり、僕の方を見た。

『…何、楨ちゃん…。』

僕はそつと実耶の髪を撫でた。そして静かに呟く。

『もう一回我慢…出来る？』

一瞬にして実耶の顔が歪んだのが分かった。

僕の名前は左藤槻。
さとうまき

他の高校生と何ら変わりない東華高校の3年生。

部活は剣道部部長で県大会準優勝。

成績は学年10位以内。

県内トップクラスの大学推薦が決まっている。

だけど僕には、『普通の高校生』とは言えない、

ある秘密がある。

岸川実耶きしかわみやと出会ったのは今から半年前。

近所の公園の鉄棒から落ちて泣いていた実耶を

僕が見つけたのだ。

実耶は僕の家の近くのマンションに母親と2人で住んでいる。

でも実耶の話によると

母親はほとんど帰つて来ないらしい。

彼女の腕にいくつも傷があることは

彼女と初めてあつた時から知っていた。

痛々しい傷は

彼女の身体の至る所に存在していた。

なのに

それでも彼女は笑っていた。

その笑顔を見る度、胸の奥底から

今まで感じたことのないような何かが

僕の身体を狂わせて今にも溢れ出そうとした。

それは恋とか愛とか

そんな純粋な響きではなく、

もっと汚れてて濁っていた。

だけど最初

僕はその感情を性欲だと認めたくなかった。

原因は実耶自身の問題だった。

彼女は、まだ8歳の小学生だったからだー

『 横ちゃん、学校行かなくていいの？』

実耶はホットココアを混ぜながら言った。

『 実耶と一緒にいたい。』

僕は答えた。

『 でも実耶は学校行くよ？ 実耶が休むと優太くんに迷惑かけちゃうから。』

彼女はホットココアに息を吹きかけた。

『誰だよ、優太くんて。』

自分でも微妙に心臓の音が速くなつたのが分かつた。

『隣の席の子。家も実耶の家の近くだよ。実耶が休むと優太くんが連絡カード書いてくれるの。』

彼女は少し嬉しそうな顔をした。

テーブルにマグカップを置いた彼女の腕を掴む。

僕は嫌がる彼女を無理矢理押さえつけた。

そして彼女の下着を乱暴に下ろした。

正氣に戻った時にはもう正午になっていた。

隣を見ると実耶はいなかつた。

風呂場からシャワーの音が聞こえてきた。

それにもしても実耶の体は典型的な小学生の体だつた。

胸はまつ平らで膨らみはなく、もちろん性器に毛は生えていない。

女性的なくびれもない。

まあ、どれも小学3年生の体にあつたら恐ろしいものばかりだとうのも事実だが。

僕は行為中の実耶の顔を思い出した。

全てを拒否するよつた、それでいて何もかも諦めたよつた顔だった。

彼女の存在は、まるで麻薬のよつに僕を蝕み苦しめる。

時々僕は自分が怖くなる。

いつか実耶を殺してしまうのではないかと。

それくらい彼女には強力な魔力と、凡人には備わっていない不思議な魅力がある。

とにかく彼女は並大抵の小学生とは全く異なる雰囲気を持つ少女だ。

しかも彼女は僕が最初の相手ではない。

実耶の母親の元夫、彼女の義父だった男（実耶の実の父親は分から
ないらしい。）に性的虐待を受けていた。

彼女自身がそう言った。

その事を彼女から聞いた時、僕は無情にもホッとした。

彼女に対して自分と同じ感情を抱いた者がいたからだ。

『大人なんて信じない。』

それが彼女の口癖だった。

彼女の考える『大人』の枠の中に僕は入っているのだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6902o/>

Lover:1

2010年11月8日18時18分発行